

就学前教育実践の手引き

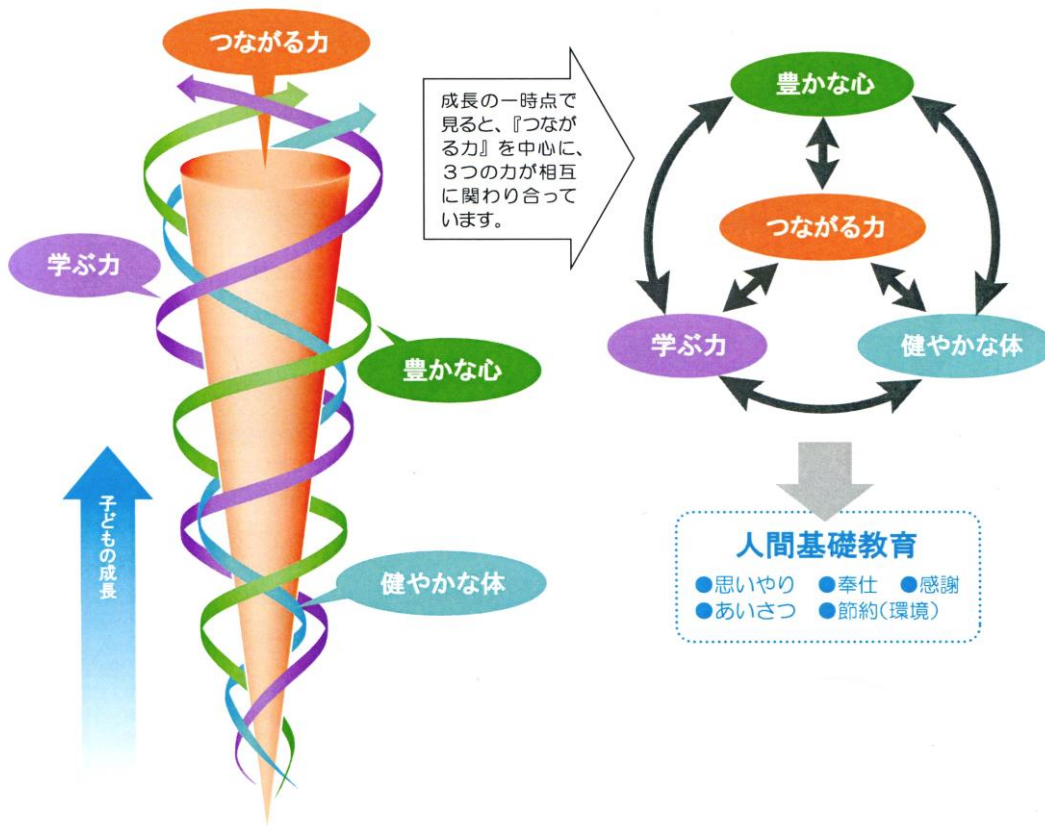


新しい指導事例

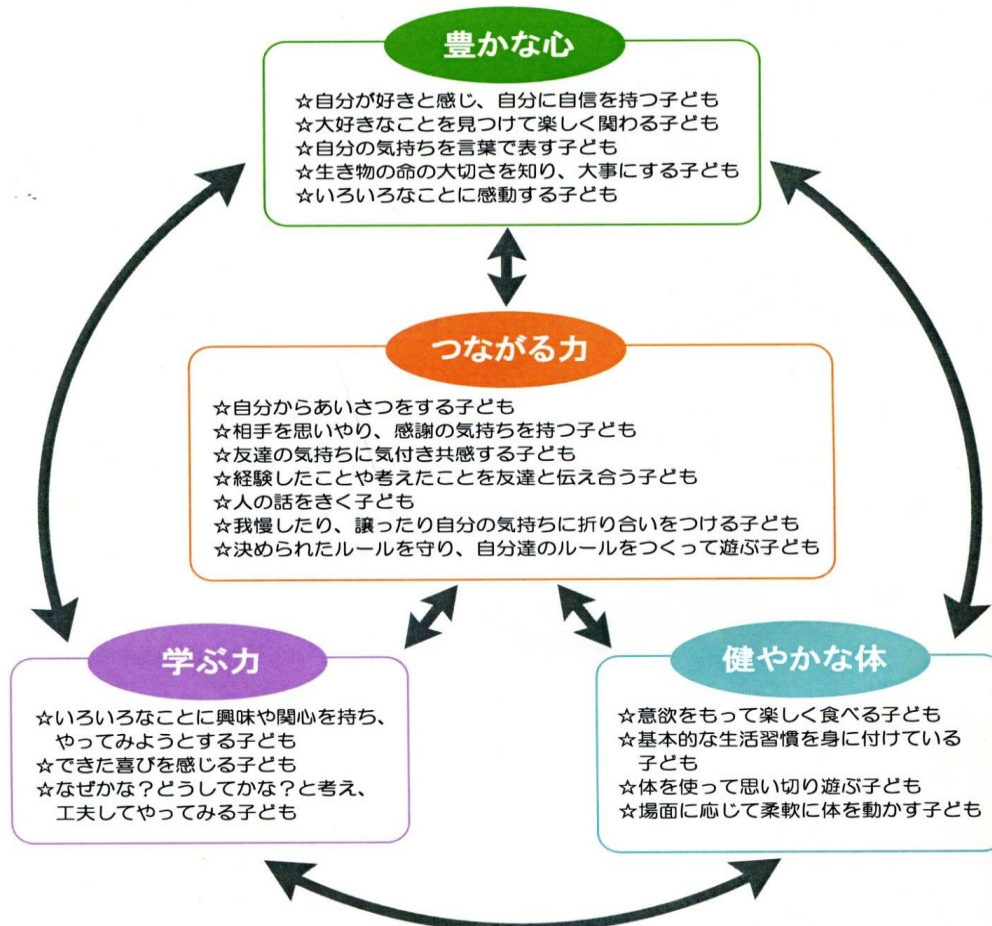
平成26年度追補版

摂津市教育委員会 こども教育課

図表-3 4つの力の関わりイメージ



図表-4 めざす子ども像





ねらい: 健やかな体・学ぶ力

ねらい

☆しなやかに体を動かす子ども

☆信頼できる大人との関わりや遊びを楽しむ子ども

- ・保育者に体をゆだねながらもバランス感覚や平衡感覚を養う
- ・いろいろな姿勢をコントロールする力を育む
- ・安心して、自分の意思や要求を仕草や声で伝える
- ・手指を開くという繊細な動きとダイナミックな動きの協調を促す



経験する内容

- ・あやされたり、揺らされる心地よさを感じたり、抱かれながらもバランスをとろうとする
- ・左右の寝返りをする ・転がる、跨ぐ、潜り抜ける
- ・すり這い、四つ這い、高這い、伝い歩き、2足歩行への移行
- ・腹ばいで遊び、腹筋、背筋を使う
- ・自分の力では経験できない姿勢の変化やそれに伴う身体運動感覚を楽しめるようにする
- ・人のまねをしてみようとする
- ・床に足裏を付けて、椅子にしっかり腰かける経験をする

子どもの姿

- ・保育者にあやされたり、揺らされて心地よく感じる体の感覚を喜ぶ
- ・バギーに乗って散歩に出かけ、周りを見て首を動かしたり、友だちと手をつないで歩く
- ・マットで作った山やステップの浅い4から5段の階段を四つ這いや高這いで上がったり下りたりする
- ・興味のあるものに対して自ら掴んだり、握ったり引っ張ったりして遊ぶ

環境・援助で気をつけること

- ・保育者も子どもと一緒に動き、子どもと一緒にやってみたいと思えるような誘い掛けをし楽しさを共有する
- ・運動発達の個人差に合わせた遊具を準備する
- ・日々の生活の中で聴き慣れた音楽も利用しつつ、自然に体が動くようなきっかけを作る
- ・危険が無いのか、環境設定には気を配る



ねらい

ねらい: 学ぶ力・健やかな体・つながる力

- ☆いろいろなことに興味や関心を持ち、やってみようとする子ども
- ☆体を使って思い切り遊ぶ子ども
- ☆できた喜びを感じる子ども
- ・ 保育者の動きを見て模倣することを楽しむ
- ・ 全身を使ったり、手足を動かしたりするような遊びを楽しむ

経験する内容

- ・ 音楽に合わせて基本的な体の動きを経験して遊ぶ
○体を移動する動き
(歩く、走る、止まる、跳ねる、這う、転がる)
- ・ 友達の動きを見たり、保育者の動きをまねしたりして楽しむ
- ・ 繰り返し遊ぶ満足感や、できた喜びを味わう

子どもの姿

- ・ 保育者の動きをまねしたりして、リズムに合わせて歩いたり、走ったり、止まったり、跳ねたり這ったり、転がったりする
- ・ 友達がしているのを座って見ながら、自分の順番がくるのを待つ

環境・援助で気をつけること

- ・ 危険の無い様に要所要所に保育者がつき見守り、安全に気をつける
- ・ うまく体を動かせない子どもには、丁寧に要領を教えたり、見本を見せる

ねらい

ねらい: 健やかな体

- ☆ 色々な運動遊びを楽しむ子ども
- ☆ 意欲的にチャレンジする子ども
- ☆ 体を使って思い切り遊ぶ子ども
- ☆ できた喜びを感じる子ども
- ・ 体を動かす楽しさを知る
- ・ リズムに合わせて動く



経験する内容

- ・ 保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ
- ・ リズムに合わせて色々な動きを楽しむ
- ・ できたことを担当保育士に知らせ、認められる経験を重ねる

子どもの姿

- ・ 繰り返すことで楽しめるようになる
- ・ 動きが分かり、意欲的に取り組もうとする
- ・ 保育士や友だちの動きを見てやってみようとする

環境・援助で気をつけること

- ・ 伸び伸びと動けるように広いスペースを確保する
- ・ 子どもが無理なく楽しんでできるように発達段階に応じた動きを取り入れる
- ・ 子どもが体の動かし方や力の入れ方が分かるように丁寧に補助し、意欲的に取り組めるようにする
- ・ できたことを一緒に喜び、達成感を味わえるようにする

～ミックスジュース作りから～

ねらい:豊かな心・学ぶ力

☆大好きなことを見つけて楽しく関わる子ども

☆いろいろなことに感動する子ども

☆いろいろなことに興味や関心を持ち、やってみようとする子ども

- ・友達と一緒にミックスジュース作りに参加し、視覚支援教材にふれながら歌に親しみを持つ
- ・ペープサートを見たり、動かしたりして、歌詞の意味を知り楽しんで歌う

ねらい



経験する内容

- ・牛乳や果物を目の前でミキサーにかけ、実際にミックスジュースを作るところを見る
- ・ペープサートを見ながら歌詞を理解し、ミックスジュースの歌を楽しんで歌う
- ・担任外の教師による『学校ごっこ』で、いろいろな教師の保育に触れる機会をもつ

子どもの姿

- ・実際にミキサーで果物がジュースになる様子を観察して「すごーい!」「掃除機みたい・・・」など、とても喜び興味をもって観察している姿が見られた
- ・後日、自分たちでペープサートを動かして歌いながら遊んでいる姿も見られた
- ・担任外の教師の保育に触れ、いつもと違う環境で、学校ごっこという取り組みに喜んで参加できていた

環境・援助で気をつけること

- ・さまざまな取り組みを行っている学校ごっこだが、小学校の前倒しで教えるのではなく遊びの中から学びの芽生えを育めるよう、楽しんで取り組むための設定・配慮をする
- ・初めて教える時は、音階は無しで読むようにして教え、その後音も入れて教えていくようにし、連続性を持たせて導入するよう心がける
- ・難しい歌詞がある場合は、子どもなりに理解できる言葉に置き換えて、できる限り曲の意味や内容を教えるように留意する
- ・普段の好きな遊びでも使えるように環境設定をしておく

5 歳 児

遠足に出かけよう！

～子どもたちが見通しを持って活動を楽しむために～

ねらい

ねらい：つながる力・豊かな心・学ぶ力

☆身近な人と親しみ、信頼感を持つ子ども

☆自然に触れて生活し、心を動かし豊かな感性を持つ子ども

☆友達とともに、やり遂げる達成感を持つ子ども

- ・子どもが見通しを持って行動できる
- ・子どもが安心して参加できる
- ・行事の内容がどんなものかをイメージできる

経験する内容

- ・慣れない環境に不安を感じやすい子ども達がいるなかで、園外の様子やその日一日の流れを写真や絵の表示で理解し、安心して園行事を楽しむ
- ・見通しをもって行動する

子どもの姿

- ・暗い道がある等、子どもが不安に思うであろうこともあらかじめ知らせておくことができ、トイレに行ける場所も示しておくことで安心して遠足を楽しめるようになった
- ・当日も持って行くことで、次は何をするのかが理解しやすかった
- ・集団参加が難しい子ども、見通しを持てたことでクラスの友達と一緒に回ることができた



環境・援助で気をつけること

- ・写真や絵でわかりやすい表示づくりを心がける
- ・支援教材の内容の変更に対応するのが難しい子どももいたため、支援教材の表示をする前によく考え、出来るだけ変更がないように教材を作る保育者の配慮が必要である。例えば交通渋滞の影響で到着が遅れ、予定の変更が考えられる場合など、変更の理由と、変更内容をあらかじめ具体的に子どもに知らせることが必要
- ・視覚表示を活用しながらも、保育者が適切な言葉かけや援助を心がける



ねらい

ねらい: つながる力・豊かな心・学ぶ力

- ☆自分の気持ちを言葉で表す子ども
- ☆いろいろなことに感動する子ども
- ☆自分からあいさつする子ども
- ☆経験したことや考えたことを友達と伝え合う子ども
- ☆相手を思いやり、感謝の気持ちを持つ子ども
 - ・親しい人と絵本を一緒に読むことで、絵本を好きになる
 - ・身近な人と親しみ、愛情や信頼感を持つ

経験する内容

- ・子ども2名ずつが、園長と一緒に自分で選んだ絵本を読む
- ・絵本の内容について思ったことを話す
- ・経験したことや感じたことを話す
- ・相手に伝える楽しさや、聞いてもらった満足感を味わう

子どもの姿

- ・「次はどの絵本を読もうかな？」と絵本を読むことに積極的で、絵本読みを聞いてもらえることを楽しみにしている
- ・「上手に読めるね」「字をよく覚えているね」とほめてもらえることで読むことへの自信につながり、次回の絵本読みの時まで進んで読む姿が見られる

環境・援助で気をつけること

- ・家庭にいるような落ち着いた雰囲気の中で、園長と一緒に絵本を読んだり会話をしてゆっくり穏やかなひと時を過ごす
- ・副園長がおばあちゃんの役割をすることで、身近な人と信頼関係を築きながら、人と関わる力を育てていく
- ・「おじゃまします」「ありがとうございました」等、生活に必要なあいさつや会話をしたり生活のマナーも自然に覚えるようにしていく

ねらい

ねらい: つながる力・豊かな心・学ぶ力

☆好きな活動を見つけて、期待をもって取り組む

☆その日の活動に見通しを持つことで安心して活動する

☆いろいろな友だちと遊ぶ楽しさを知る

☆午後から、グループ（短時間・長時間）によって活動が異なることを理解する

- ・自分で見て分かることにより、活動への期待を高める
- ・見通しを持つことで、苦手な活動にも意欲的に取り組む
- ・グループで活動や時間が異なる時に、スムーズに次の活動を行う



経験する内容

- ・ホワイトボードを見ながら、自分で活動の流れを意識して取り組む
- ・友達と活動について話をして、興味がある活動などを共有する
- ・不安な時は、ホワイトボードを見て自分の中で活動の見通しを持つことで安心する

子どもの姿

- ・登園後に、1日の流れを確認して活動に取り組んでいる
- ・グループによって活動が違うことを知り、自分のグループの活動だけでなく、他のグループの活動内容も知る
- ・子ども同士で、ホワイトボードを見ながら、活動について話をして期待を高めている
- ・次の活動について、ホワイトボードを見ながら確認している
- ・視覚による理解が入りやすい子どもも、そうでない子どもも安心して活動に取り組むことができた
- ・短時間と長時間が混ざり、遊びをすすめている

環境・援助で気をつけること

- ・絵と文字でわかりやすく表示する
- ・グループによって活動が変わるので、スペースを分けてわかりやすく表示する
- ・生活習慣（手洗い、うがい等）で気になることは、絵と文字で表示して子どもが意識できるようにする
- ・子どもたちに、活動の時間差があることを知らせる

かるたで養う ソーシャルスキル

6 歳 ~

9 歳

ねらい

ねらい: つながる力・豊かな心

☆基本的な生活習慣が確立した子ども

☆基本的な学習習慣が確立した子ども

☆基本的なコミュニケーション能力が確立した子ども

- ・集団生活に必要なソーシャルスキルをかるたを通して無理なく覚える
- ・かるたの文言を口ずさみ暗唱することで日常生活に必要な内容を楽しく意識させる



経験する内容

- ・教師が上の言葉を使うことで、下の言葉をかるたでとる
- ・かるたをとる際に、言葉をいえるようにしていく
- ・かるたの内容は以下のようなものである
 - もらったり してもらったら ありがとう
 - ぶつかった わざとじゃなくても ごめんなさい
 - おはようで きょうもいちにち げんきよく

子どもの姿

- ・導入して、すぐは戸惑うことも多かったが、回数を繰り返すうちに、上の言葉を聞いて下の言葉をとれるようになっていった
- ・以下のような援助をすることで、勝ち負けにこだわらずに、取り組むことができるようになった

環境・援助で気をつけること

- ・かるたなので、勝ち負けにこだわる子が出てきてしまう。勝ち負けにこだわるのではなく、楽しく、文章の内容を覚えることを目的とするように伝え、取り組ませた
- ・かるたをやっている最中に、何度も楽しくできているか？けんかをせずにやっているかを確認し、価値づけるようにした
- ・ソーシャルスキルかるたは、東京教育技術研究所で購入した

就学前教育実践の手引き



**新しい指導事例
平成26年度追補版**